

## 公安委員会定例会議の開催状況

第1 日時 令和3年4月21日(水)午後1時30分から午後2時10分までの間

第2 出席者 西山委員長(司会)・古谷委員・小田切委員

本部長・警務部長・生活安全部長・刑事部長・交通部長  
警備部長・情報通信部長・首席監察官・総務参事官

第3 議事の概要

### 1 委員長説示

4月19日・20日の両日、高知県下において2020年東京オリンピック・パラリンピックの聖火リレーが開催されました。

笑顔あふれる走者、沿道の皆さま、交通整理、警備にあたる警察官の方々の一糸乱れぬチームワークを様々な映像から拝見することができました。歴史に残る記念事業として多くの方々にとって宝物になった、と感じた次第です。

重ねて今回の聖火リレー開催の準備、現地での対応等に当たられた方々の労をねぎらうとともに、公安委員会としても心から感謝を申し上げます。

### 2 報告事項

(1) 令和2年度高知県監査委員による定期監査の受監結果について・・・【資料1】

警務部から、令和2年度高知県監査委員による定期監査の受監結果について報告があった。

委員から、「仕組みとして再発を防止することは大事であるが、やはり基本は各々の自覚であると思う。是非、教養面を通じて自覚を促すと同時に未然の防止をお願いする。」旨の発言があった。

(2) 令和3年度の監察実施計画について・・・【資料2】

警務部から、令和3年度の監察実施計画について報告があった。

委員から、「非違事案を未然に防止することのほか、職員の意識を高めていくことが重要である。各職場での相互の注意喚起や情報共有も十分に効果がある。それ以上に、相互啓発しながらの未然防止も「気づきの機会」として大切である。」旨の発言があった。

また、他の委員から、「緊張感は緩みがちになってくるものである。部署内でこまめな緊張感を保ちながら、監察が行われる前に自らを監察する態勢を構築すれば非違事案も少なくなる。」旨の発言があった。

### (3) 春の連休期間中における山岳遭難の防止について・・・【資料3】

生活安全部から、春の連休期間中における山岳遭難の防止について報告があった。

委員から、「QRコードによる登山の届出方法があれば非常に便利である。未整備であれば検討していただきたい。」旨の発言があった。

### (4) 春の全国交通安全運動の実施結果について・・・【資料4】

交通部から、春の全国交通安全運動の実施結果について報告があった。

委員から「自転車の乱暴な運転が目立つ。自転車と歩行者との接触により大きな怪我を負う事故が発生することもあることから、引き続き注意喚起をお願いする。」旨の発言があった。

また、他の委員から、「将来、子供たちがドライバーになった時のことを見据えると若年者に対する交通安全教育は非常に大事である。」旨の発言があった。

## 3 追加報告

聖火リレー警備の実施結果について

警備部から、聖火リレー警備の実施結果について追加報告があった。

## 第4 決裁事項

### 1 判決書の受領について

警務部から、判決書の受領について説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

- 2 銃砲刀剣類所持等取締法違反による不利益処分（所持許可の取消）について  
生活安全部から、銃砲刀剣類所持等取締法違反による不利益処分(所持許可の取消)  
について説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。
  
- 3 公安委員会定例会議議事録について  
公安委員会事務室から、令和3年4月7日に開催した公安委員会定例会議「議事録」  
について報告があり、原案のとおり了承した。

## 第5 聴聞関係

運転免許センターから、運転免許の行政処分に係る意見の聴取結果について報告があり、審議の結果、9件（交通事故1件、飲酒運転3件、その他の法令違反等5件）の行政処分を決定した。